

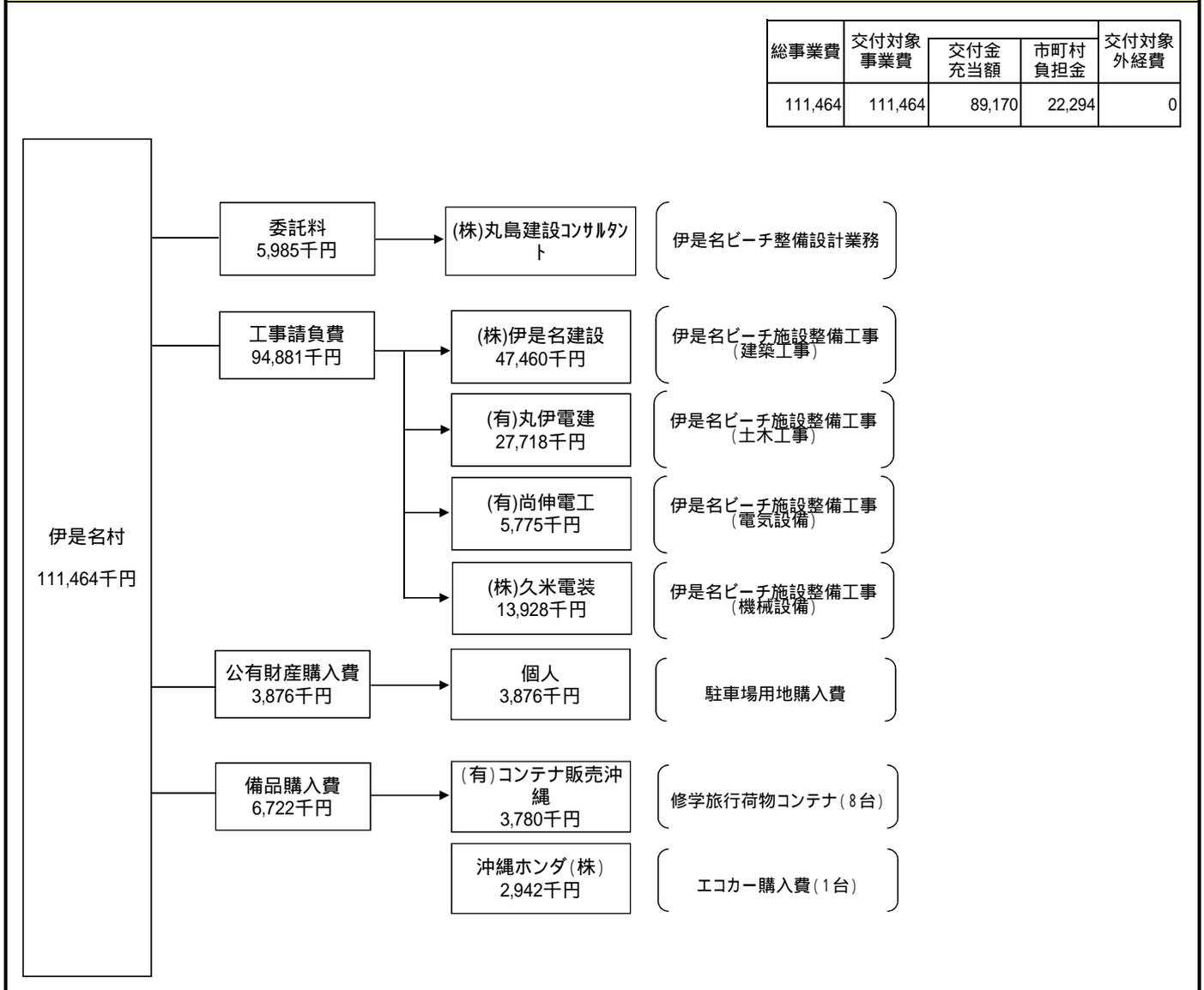
市町村名		伊是名村					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	伊是名村観光客受入体制づくり強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-7	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	伊是名ビーチは、毎年10月に開催される「いげな88トライアスロン大会」のスイム競技の会場であり、また、5月の大型連休や夏休みには多くの観光客がキャンプを楽しんでいる。そのほか、「いげな島体験修学旅行」として県外から訪れる修学旅行生の海水浴場として利用されているが、シャワー・トイレ等が一箇所しかなく、支障をきたしている状況である。ビーチ利用者の利便性の向上を図るためシャワー・トイレ等を一体的に整備し、観光施設として体制づくりを推進する。						
実施方法	直接実施      委託      補助      負担      その他(用買)						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	109,643	-			
		(b)予算現額	113,918	-			
		(c)増減額(b-a)	4,275	-			
		(d)繰越額	-	103,651			
		A.計(b+d)	113,918	103,651			
	B.執行済額		9,860	101,604			
	うち交付金充当額		7,888	81,282			
	次年度繰越額		104,058	-			
	執行率(%) (B/A)		8.7%	98.0%			
予算の状況の説明		工事において、整備箇所到他事業の海岸整備計画が重なり、本事業の建物配置の見直し等に日数を要したことや、備品購入についても調整や納品が遅れたことにより104,058千円を繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	海水浴場のシャワー・トイレ室等の実施設計及び整備工事の実施	目標	( 施設整備 )	( )	( )	( )	
		実績	施設整備(2棟)				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	整備にあたっては利便性向上を念頭に設計し、大幅な造成等は行わなかった。税負担の公平性を保つ意味から温水式シャワーは本村では初となるコイン式を採用した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	海水浴場のシャワー・トイレ室等の整備	目標	( )	( 施設整備 )	( )	( )	( )
		実績		施設整備(2棟)			
	[参考指標]						
	伊是名村入域観光客数	目標	( 2.5万人 )	( 2.5万人 )	( )	( )	( 4.3万人 )
		実績		2.4万人			
進捗状況説明	毎年ゴールデンウィークや夏休み期間中には多くの海水浴客で賑わっており、また、最近では修学旅行のマリン体験会場として利用されている。トライアスロン大会のスイム会場にもなっていることから、今後は更なる利用客の増加が見込まれる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	海水浴だけでなく、修学旅行生や一般観光客を対象にしたマリン体験会場として利用向上を図る。	平成24年4月に民泊受入体制強化を図るため「いげな島観光協会」が設立され、修学旅行生のマリン体験実施校増加に取り組む必要がある。また、一般観光客を対象にしたマリン体験実施も積極的に取り組む必要がある。

**今後の取り組み方針**

観光協会を中心としたマリン体験受入体制を強化し、マリン体験メニューの創出を図りながら雇用促進に繋げていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



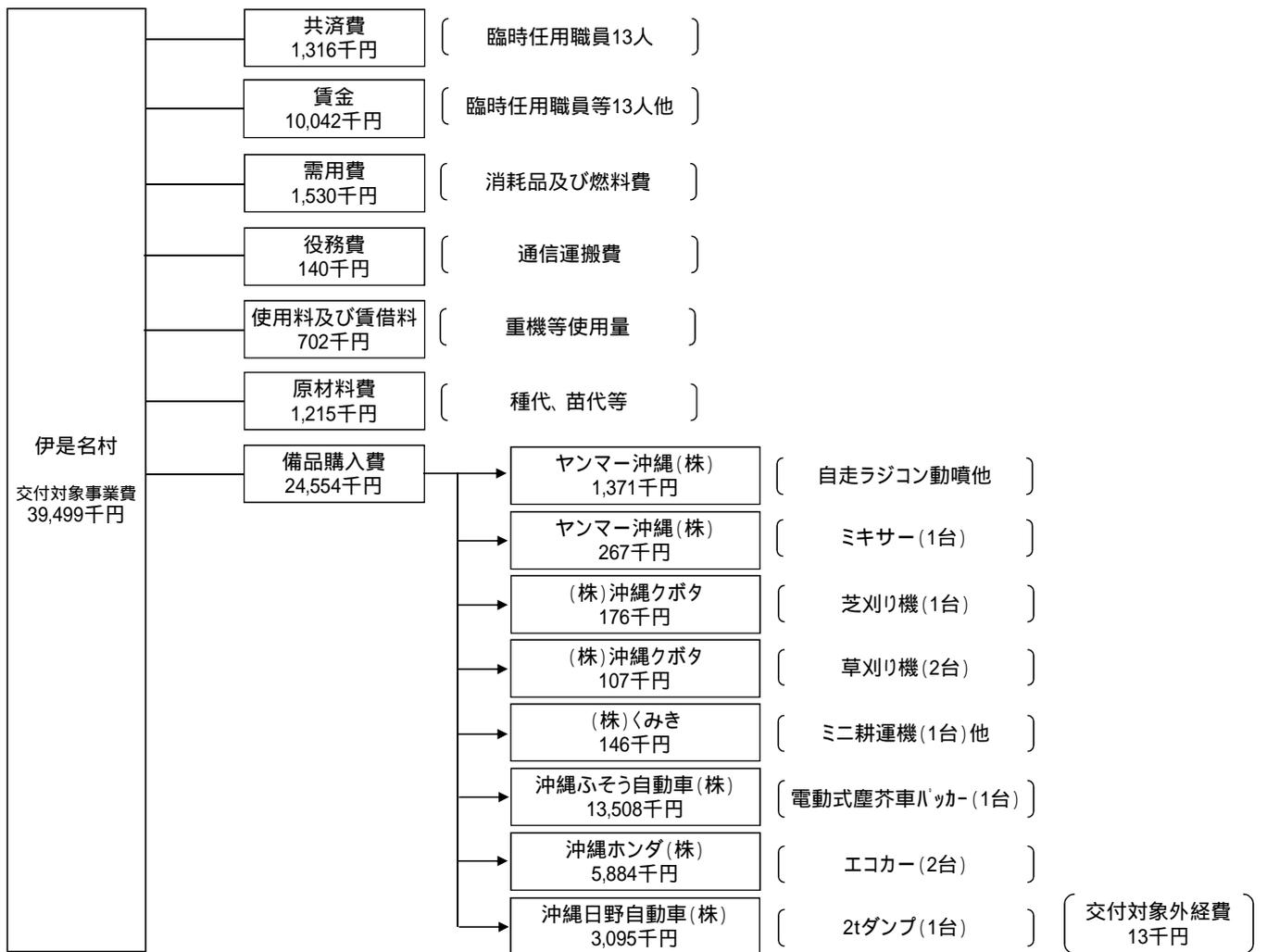
資金の 用途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業務・工事発注・エコカー購入は指名競争入札で行っており、契約方法は妥当であった。 ○また、コンテナ購入については随意契約となっているが、購入条件等の理由から契約方法は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	観光地等クリーンアップ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-7	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 -1-(1)	
事業内容	本村には、数多くの史跡や文化財があることから、各種イベントで使用する会場周辺や観光施設、観光ルートの清掃や花木の植栽など美化・緑化活動を強化し、島全体を一つの観光地として整備する。						
実施方法	直接実施      委託      補助      負担      その他 (   )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	48,374	-			
		(b)予算現額	47,769	-			
		(c)増減額(b-a)	605	-			
		(d)繰越額	-	30,758			
	A.計(b+d)		47,769	30,758			
	B.執行済額		17,012	22,487			
	うち交付金充当額		13,609	17,990			
	次年度繰越額		30,758	-			
	執行率(%) (B/A)		35.6%	73.1%			
予算の状況の説明		・備品購入については、納品が間に合わないことから30,758千円繰り越した。 ・不要額が発生している主な要因は、備品購入の際の入札残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光ルートの雑草の除去及び花木の植栽 植栽後の定期的な肥培管理の実施	目標	( 除草・植栽等 )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績	除草・植栽等 (15箇所)				
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績					
達成状況説明	計画的に目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	美化緑化箇所:15箇所 [まつり会場(1箇所)、フットパスコース(1箇所)、集落内外(5箇所)、フラワーロード(4箇所)、他観光施設等(4箇所)]	目標	( 0カ所 )	( 15箇所 )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績		15箇所			
	[参考指標]	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績					
	進捗状況説明	成果目標である15箇所の美化緑化が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	植栽後の肥培管理を適切に実施しなければならない。	花壇の草取りをこまめに実施することで、景観保全に繋げたい。
今後の取り組み方針		
美化緑化箇所の継続した管理保全を図るとともに、適切な肥培管理の実施に努める。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
39,512	39,499	31,599	7,900	13



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	企画政策課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり -1-(4)	
事業内容	本村は、琉球第二尚氏王朝の始祖、尚円王の生誕地として広く知られ、王家ゆかりの史跡、琉球王朝以前のグスク(城)「伊是名城跡」及び王家の清明祭など数多くの文化遺産等が残っている歴史的島であることから、これらの先人達が残してくれた歴史的遺産の復元及び周辺整備、文化行事の継承など、歴史・文化を活用し、本村から琉球の歴史を県内外へ情報発信し、更なる誘客による観光振興につなげる。						
実施方法	直接実施      委託      補助      負担      その他 (   )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	14,000	-			
		(b)予算現額	14,000	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	13,629			
	A.計(b+d)		14,000	13,629			
	B.執行済額		0	13,629			
	うち交付金充当額		0	10,903			
	次年度繰越額		13,629	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		平成24年度は整備計画を中心に策定作業を実施した結果、予定していた委員会を開催することができなかった。また、関連事業等を追加した基本構想策定へ変更したため年度内完了が困難となり業務委託費13,692千円を翌年度に繰り越した。業務は平成26年8月に完了。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	「尚円王(金丸)生誕の村整備事業」 H24年度:尚円王生誕の村総合整備計画策定	目標	(基本構想策定)	( )	( )	( )	( )
		実績	基本構想策定				
		目標	( )	( )	( )	( )	
	実績						
達成状況説明	基本構想策定にあたり、方向性を確認するための会議を観光団体(商工会・観光協会)と村3役・課長級職員で開催し、その中で、整備計画だけでなく、イベントや人材育成等も網羅した生誕600周年の基本構想とすることが確認され、平成24年度は策定業務のみ実施することとなり、実行委員会を開催しなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	公事清明祭への来訪者数	目標	(100人)	(100人)	( )	( )	(200人)
		実績		100人			
	〔参考指標〕						
	いげな尚円王まつり来場者数	目標	(1,000人)	(1,000人)	( )	( )	(2,300人)
実績			1,800人				
進捗状況説明	これからの本村観光振興は、「尚円王」をキーワードに取り組む予定である。本事業で策定した基本構想に基づき、今後、関連施設整備や各種イベント・PR活動等を通し観光誘客を図る。						

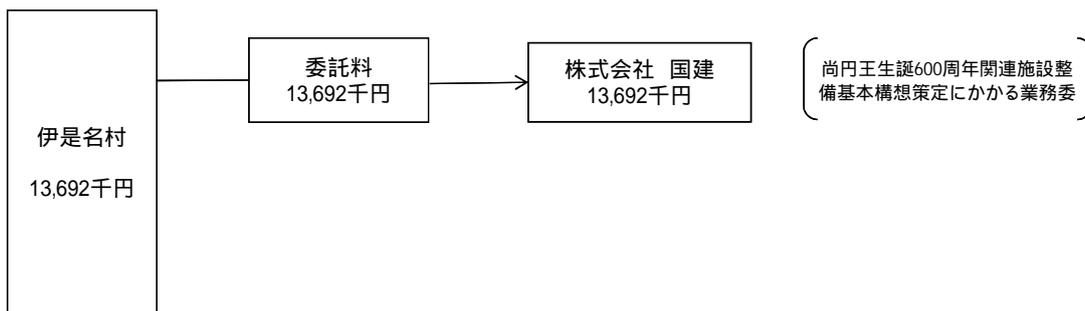
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想に挙げた施設整備やイベント等について、主体となって取り組む体制づくりが必要である。また、事業内容も多岐にわたることから、予算の確保や優先度を検討しながら他事業とも連携して事業を実施していく。</li> <li>平成27年に向け実行委員会を早期に設立し、住民が主体となる取り組みについて検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体となって事業実施に取り組むべく庁内組織の充実が求められている中、平成26年度より事務局となる部署を設置した。今後は、事務局を中心に実行委員会設立・事業実施に向けた具体的な取り組みについて検討・実施していくこととなる。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

尚円王生誕600周年基本構想において、生誕祭の期間を平成27年の1年間として取り組むこととなっている。このため、まずはPR活動やイベント、人材育成を重点的に行っていく。さらに、尚円王と関連のある自治体等(西原町・首里城)との連携によるスケールメリットを活かした取り組みについて検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,629	13,629	10,903	2,726	0



資金の流 れ、費目 ・ 評価	点検項目	評価に関する説明
	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札により決定しており、選定方法は妥当であったと考える。費目・用途については事業目的達成のためには適正であった。
	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	